

認知症サポーター養成講座 ～入居者も地域の人と一緒に～

そんぽの家S扇大橋（以下、施設）は、扇大橋のすぐ近くにあるサービス付き高齢者向け住宅です。もっと施設を地域の方々に知ってほしい、認知症のことを知ってほしいという思いから、認知症サポーター養成講座を地域包括支援センター一扇に依頼しました。

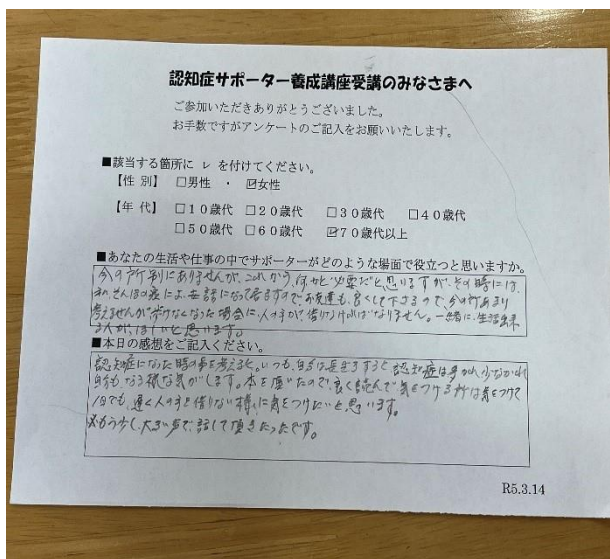
この日は入居者だけではなく、施設の職員、また近隣の住民の方を含めて24名が参加。コロナ禍で高齢者施設へ入ることが難しい中、一緒に受講する形は新鮮でした。

今後も入居者と地域住民との交流の場が増えるといいですね。



施設の食堂で開催。食堂には40名まで入れるそうです。皆さん、メモを取りながら真剣に受講していました。

※認知症サポーター養成講座・・・講師役である「キャラバン・メイト」が地域や職域団体等を対象に、認知症の正しい知識や、つきあい方についての講義を行う住民講座・ミニ学習会などのこと。



受講後のアンケート。記入後の提出と引き換えに「オレンジリング」をお渡しできます。オレンジリングは認知症サポーターの証です！



石本ホーム長（3月末で異動、写真右）と宮永副ホーム長。地域の方が老若男女問わず、気兼ねなく立ち寄れる施設を目指していると話していました。

取材日：令和5年3月14日

参加者数：24名

取材メモ：そんぽの家S扇大橋では月1回子ども食堂が開催されています。子ども食堂もぜひ取材したいと思っています。（足立社協 桂亜希子）

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374